

## 抗原 - 抗体反応(こうげんーこうたいはんのう) | Antigen-antibody reaction

抗原と抗体の間で起こる特異的、選択的反応の一つ。この反応は抗体の性質や反応条件によって凝集反応、沈殿反応、溶血反応などに分類される。具体的応用のプロセスを述べると、合成ラテックスの半分量に抗原物質を吸着させ、他の半分に抗体を吸着させて両者を混合すると、抗原 抗体反応に基づくラテックスの凝集が起こることはよく知られた現象であるが、生医学の分野では更にこの凝集を発展させて、抗原を吸着させたラテックスを微量の抗体を含む溶液中に分散させ、その中でのラテックスの凝集性の観察から、抗体の存在の有無を調べる測定法として利用している。この方法は既にある分野では欠かすことのできないテスト法として用いられているが、これも一種の“モザイク型引力”に基づく現象と見なすことができる(モザイク型引力)

(古澤)